

2024年3月期第2四半期 決算説明会

2023年11月17日

株式会社エヌアイデイ

(証券コード：2349)

1. 2024年3月期第2四半期連結決算概要

2. 2024年3月期通期連結業績見通し

3. 株主還元

4. トピックス

付録：会社概要／データ資料

この資料に掲載しております当社の計画及び予想、戦略などは、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後の日本経済や情報処理業界の動向、新たなサービスや技術の進展、不確定要素などにより、実際の業績とは大きく異なる可能性がございます。あらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

1. 2024年3月期第2四半期連結決算概要

2. 2024年3月期通期連結業績見通し

3. 株主還元

4. トピックス

付録：会社概要／データ資料

連結損益計算書

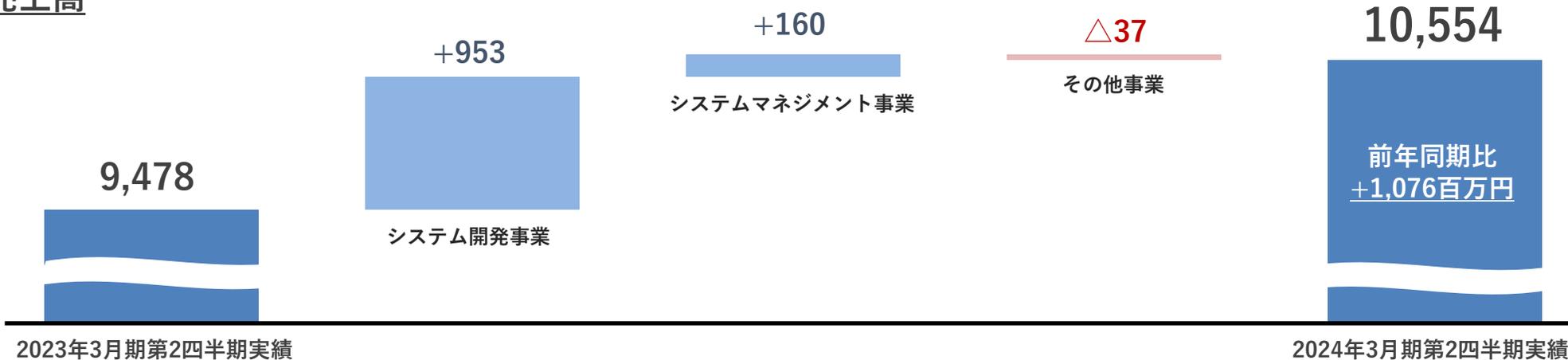
(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期実績	2024年3月期 第2四半期予想	2024年3月期 第2四半期実績	前期比	予想比
売上高	9,478	10,040	10,554	+11.4%	+5.1%
営業利益	1,064	940	1,225	+15.2%	+30.4%
営業利益率	11.2%	9.4%	11.6%	+0.4pt	+2.2pt
経常利益	1,156	1,020	1,390	+20.2%	+36.3%
経常利益率	12.2%	10.2%	13.2%	+1.0pt	+3.0pt
四半期純利益	1,014	710	926	△8.8%	+30.4%
四半期純利益率	10.7%	7.1%	8.8%	△1.9pt	+1.7pt

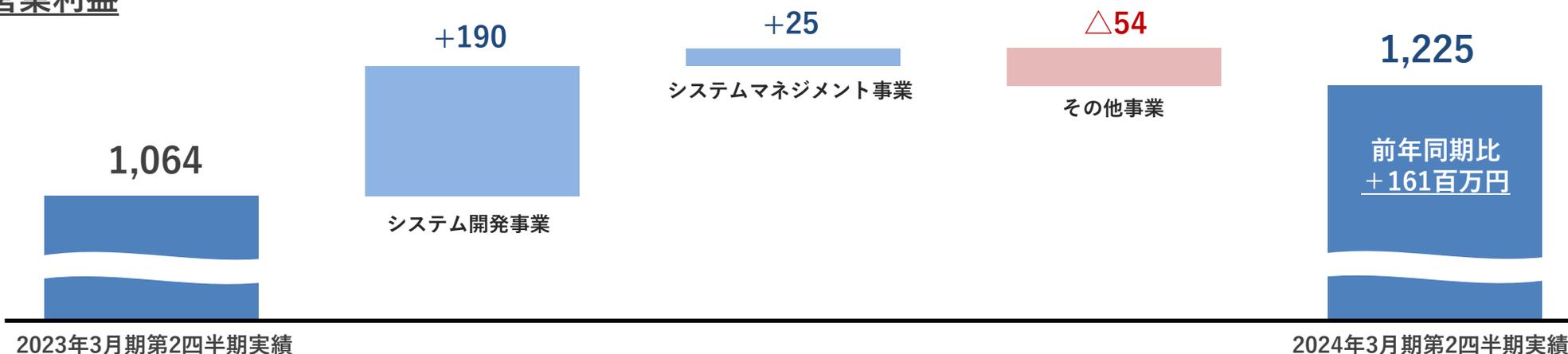
売上高・営業利益のセグメント別（前年同期比較）

（単位：百万円）

■売上高



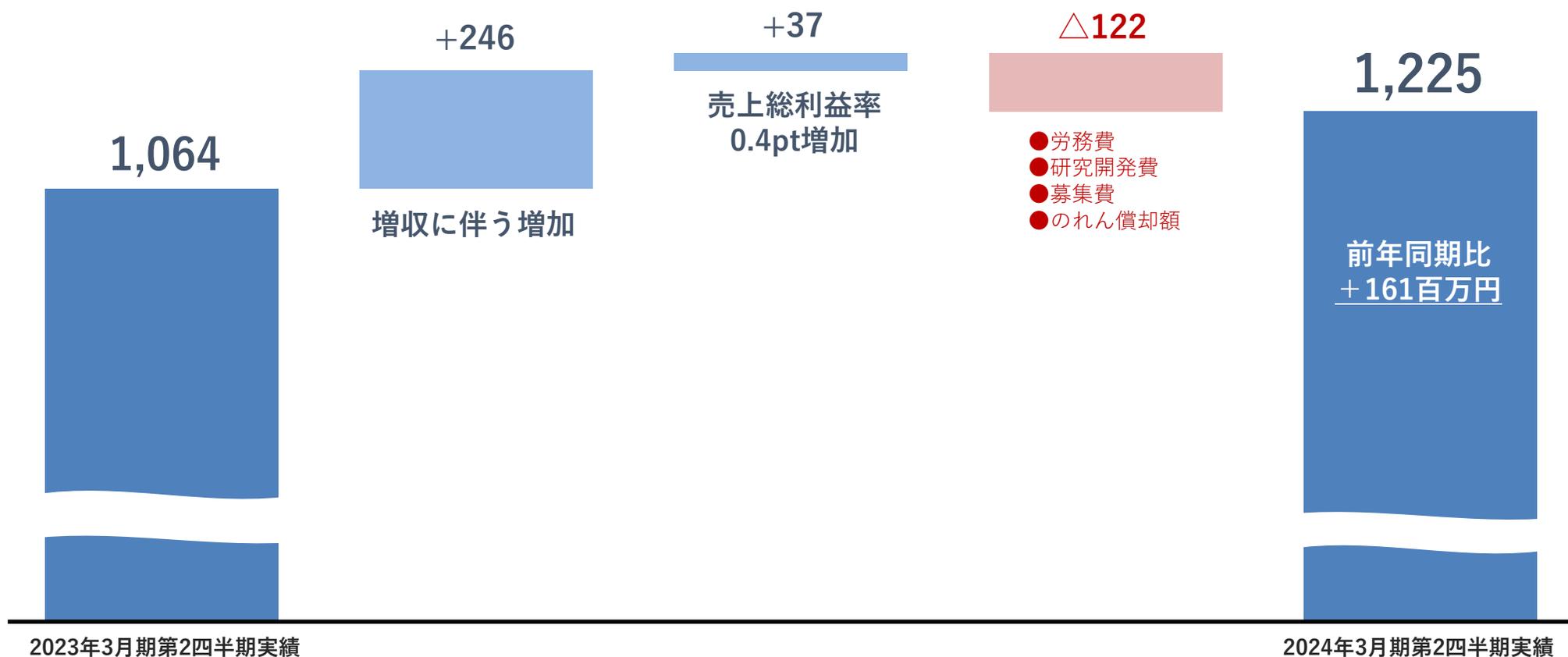
■営業利益



営業利益差異分析（前年同期比較）

（単位：百万円）

●営業利益は前年同期比+161百万円



セグメント別売上・利益構成

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期実績			2024年3月期 第2四半期実績			前年同期比		
	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益	営業 利益率
システム 開発事業	6,252	710	11.4%	7,205	900	12.5%	+15.3%	+26.8%	+1.1pt
システム マネジメント事業	2,407	225	9.4%	2,567	250	9.8%	+6.6%	+11.3%	+0.4pt
その他事業	818	126	15.4%	780	71	9.1%	△4.6%	△43.6%	△6.3pt
連結計	9,478	1,064	11.2%	10,554	1,225	11.6%	+11.4%	+15.2%	+0.4pt

システム開発事業

■売上高・営業利益

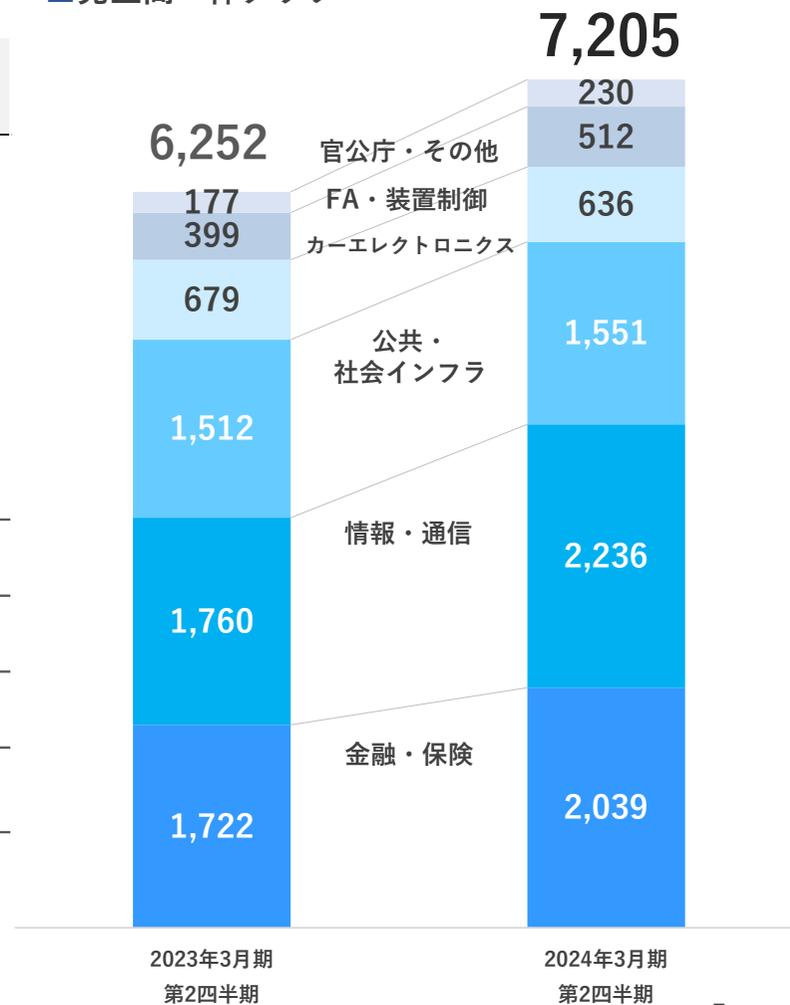
	2023年 3月期2Q	2024年 3月期2Q	前期比	要因
売上高	6,252	7,205	+ 15.3%	売上高の増加に加え、一部 案件の採算性の改善等により 増収増益
営業利益 (営業利益率)	710 (11.4%)	900 (12.5%)	+ 26.8%	

■分野別売上高

金融・保険	1,722	2,039	+ 18.4%	生保・共済系が好調に推移
情報・通信	1,760	2,236	+ 27.0%	EC関連の受注が増加
公共・社会インフラ	1,512	1,551	+ 2.5%	医療関連が増加
カーエレクトロニクス	679	636	△ 6.3%	主要顧客からの受注が減少
FA・装置制御	399	512	+ 28.4%	スマートロック関連の受注が増加
官公庁・その他	177	230	+ 29.3%	公共関連からの受注が増加

■売上高・棒グラフ

(単位：百万円)



システムマネジメント事業

■売上高・営業利益

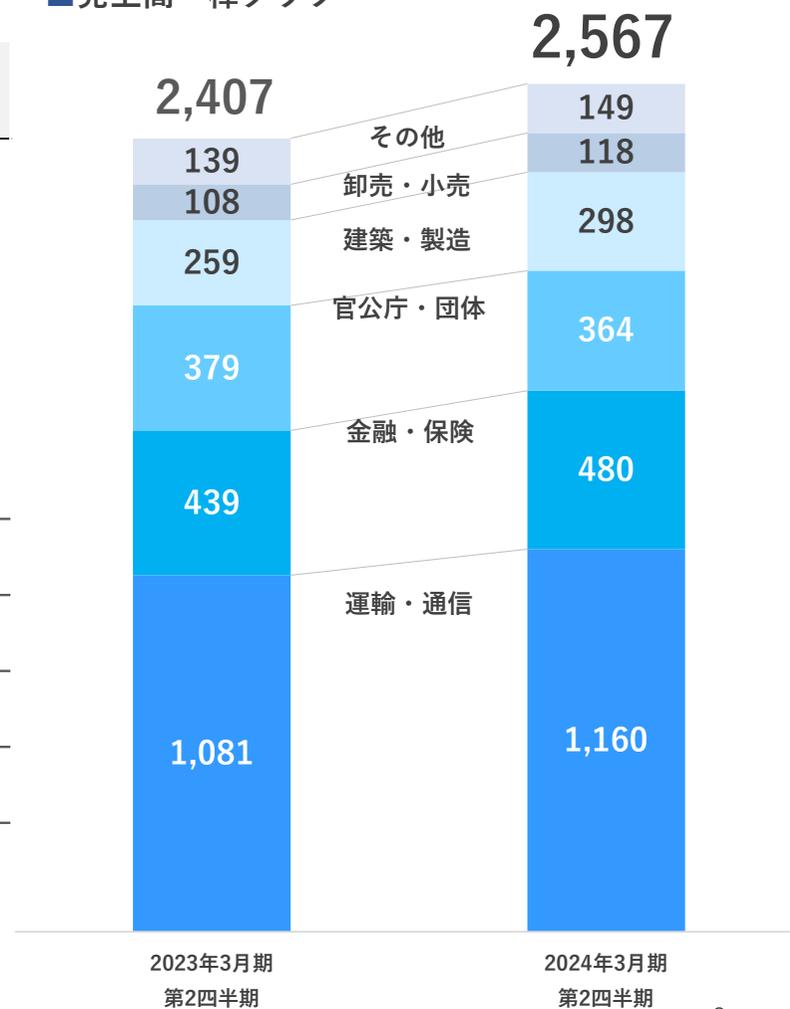
	2023年 3月期2Q	2024年 3月期2Q	前期比	要因
売上高	2,407	2,567	+ 6.6%	売上高の増加に加え、一部 案件の採算性の改善等により 増収増益
営業利益 (営業利益率)	225 (9.4%)	250 (9.8%)	+ 11.3%	

■分野別売上高

運輸・通信	1,081	1,160	+ 7.3%	主要顧客からの受注が回復
金融・保険	439	480	+ 9.4%	構築系案件が引き続き増加
官公庁・団体	379	364	△ 4.0%	スポット案件の受注が減少
建築・製造	259	298	+ 15.3%	構築系案件が好調に推移
卸売・小売	108	118	+ 9.6%	上流支援案件の受注が増加
その他	139	149	+ 7.0%	情報系案件の受注が増加

■売上高・棒グラフ

(単位：百万円)



その他事業

■売上高・営業利益

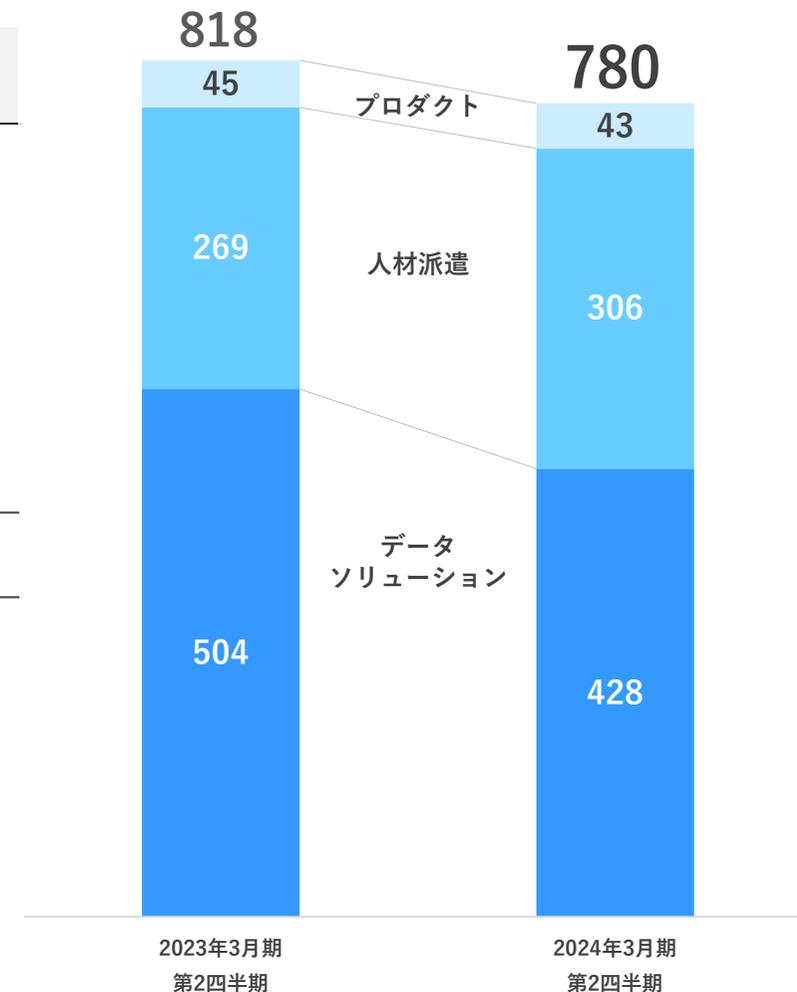
	2023年 3月期2Q	2024年 3月期2Q	前期比	要因
売上高	818	780	△ 4.6%	データソリューション事業の特需案件剥落により減収減益
営業利益 (営業利益率)	126 (15.4%)	71 (9.1%)	△43.6%	

■分野別売上高

データソリューション	504	428	△ 14.9%	新型コロナウイルス関連の保険給付金申請入力作業が剥落
人材派遣	269	306	+ 14.0%	運輸関連、サービス業関連への派遣業が回復
プロダクト	45	43	△ 3.9%	—

■売上高・棒グラフ

(単位：百万円)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2023年3月期 年度末	2024年3月期 第2四半期末	増減額	主な増減要因
流動資産	16,875	17,437	+ 561	現金及び預金 + 328
固定資産	7,144	7,255	+ 111	売掛金 △199 仕掛品 + 304 投資有価証券 + 231
資産合計	24,020	24,693	+ 673	
流動負債	3,002	3,087	+ 84	買掛金 + 40 賞与引当金 + 36
固定負債	3,106	3,170	+ 64	
負債合計	6,108	6,257	+ 148	
純資産合計	17,911	18,435	+ 524	利益剰余金 + 637
負債純資産合計	24,020	24,693	+ 673	

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期実績	2024年3月期 第2四半期実績	主な要因
営業活動によるCF	933	886	税金等調整前四半期純利益 +1,390 売上債権の減少 +95 棚卸資産の増加 △304 法人税等の支払額 △526
投資活動によるCF	△45	17	投資有価証券の取得による支出 △353 投資有価証券の売却及び償還による収入 +408
財務活動によるCF	△261	△577	自己株式の取得による支出 △287 配当金の支払額 △287
現金及び現金同等物の増減額	626	327	
現金及び現金同等物の期末残高	12,409	12,714	

1. 2024年3月期第2四半期連結決算概要

2. 2024年3月期通期連結業績見通し

3. 株主還元

4. トピックス

付録：会社概要／データ資料

国内経済

●大企業業況判断DI

大企業・製造業の業況判断は2四半期連続で改善。半導体不足の緩和やエネルギー価格の上昇一服、仕入れ価格上昇分の転嫁が順調に進んだことが影響。

(日銀短観2023年9月調査)

国内IT市場

●2023年国内ITサービス市場見通し

世界的なインフレーションや景気後退懸念といった先行きの不透明感の増大に伴い、ITサービス投資抑制の影響が懸念される。一方、半導体／部材不足による製品の調達遅延に伴うハードウェア関連サービス市場へのマイナス影響の段階的な解消に加え、デジタルビジネス化を図る国内企業のシステム刷新および新規システム構築の需要に支えられ、堅調な成長を継続する見込み。

(IDC Japan2023年4月4日発表)

当社への影響

●システム開発事業は堅調に推移も外部要因により一部業種に不透明感

金融分野は堅調に推移するものの、業種によっては円安や原材料高、それに伴う物価高騰が重しとなり、不透明感が増していくものと見込む。

●システムマネジメント事業は緩やかな回復を見込む

一部主要顧客のシステム投資は不透明な状況ではあるが、緩やかな回復の継続を見込む。

●その他事業はデータソリューション事業の特需剥落のため、引き続き厳しい状況を見込む

2024年3月期通期連結業績見通し

●これまでの業績動向を踏まえ、前回予想を上方修正いたしました

	2023年3月期 実績	2024年3月期 当初予想	2024年3月期 修正予想	前期比	当初予想比
売上高	20,449	21,000	21,000	+550	—
営業利益	2,544	2,400	2,600	+55	+200
経常利益	2,742	2,560	2,840	+97	+280
当期純利益	2,210	1,760	1,970	△240	+210

2024年3月期通期連結業績見通し（セグメント別）

（単位：百万円）

	2023年3月期 実績		2024年3月期 修正予想		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
システム開発事業	13,869	1,874	14,420	1,990	+550	+115
システム マネジメント事業	4,938	441	4,880	440	△58	△1
その他事業	1,640	220	1,700	170	+59	△50
連結計	20,449	2,544	21,000	2,600	+550	+55

1. 2024年3月期第2四半期連結決算概要

2. 2024年3月期通期連結業績見通し

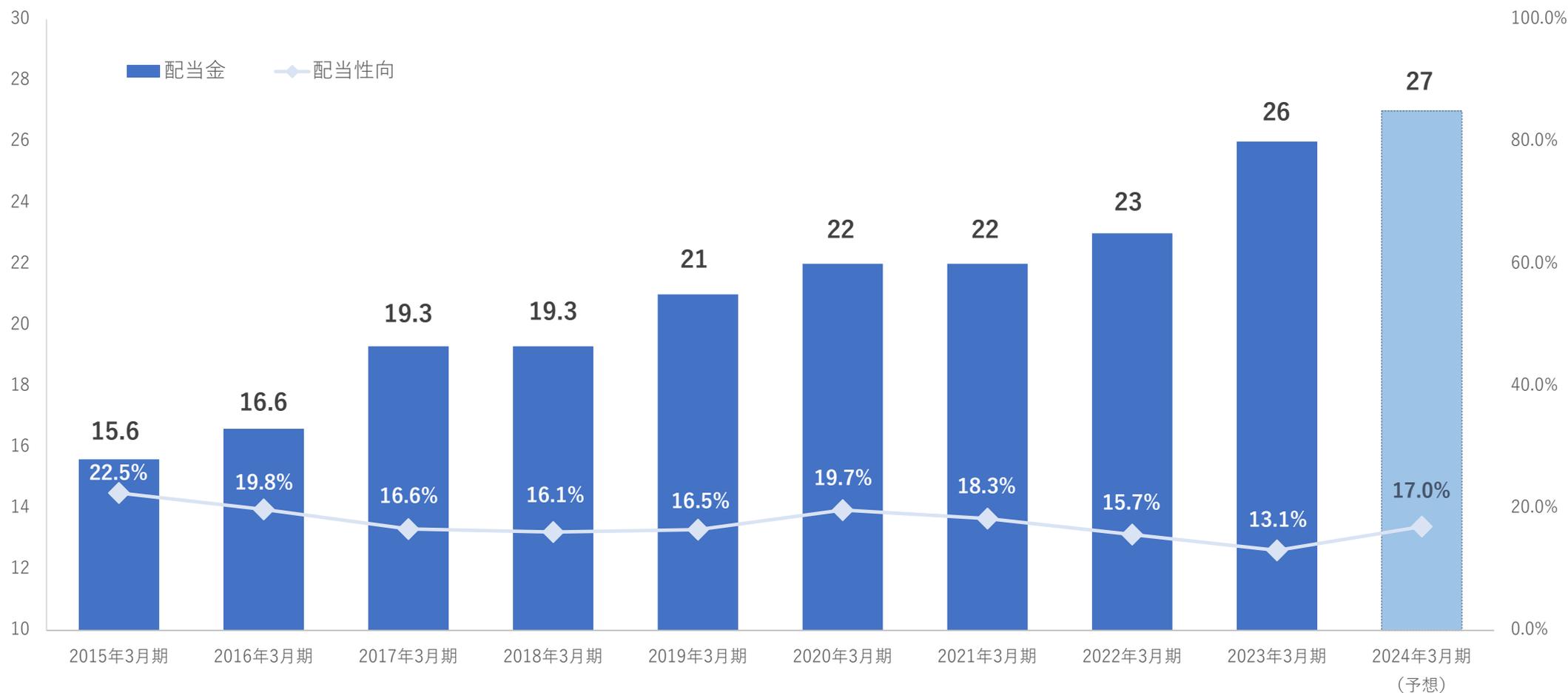
3. 株主還元

4. トピックス

付録：会社概要／データ資料

株主還元（配当予想）

●今期の業績予想を踏まえ、期末配当予想を1株あたり27円を予定しています



株主還元（自社株買い）

●株主還元の一環として、2023年8月8日に自己株式の取得を実施しました

- (1) 取得対象株式：普通株式
- (2) 取得株式総数：180,000株（発行済株式総数（自己株式を除く）の1.62%）
- (3) 取得株式総額：287,820,000円
- (4) 取得日：2023年8月8日
- (5) 取得方法：東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT3）による買付け
- (6) 理由：株主還元を充実させるとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能にするため

1. 2024年3月期第2四半期連結決算概要

2. 2024年3月期通期連結業績見通し

3. 株主還元

4. トピックス

付録：会社概要／データ資料

●2年目を迎えた「まち歩きサービス」

今期は横浜エリアでの実証実験や佐原エリアでの商用化を実現し、イベントの体験価値向上に寄与

横浜

YOKOHAMA Hack!

横浜市と協定を締結し、イベント退出時の行動変化に関する実証実験を実施。ウェブサービスを活用し、みなとみらい21地区で開催されるイベント来訪者を対象に、タイムリーかつ包括的に情報を提供。

デジタルマップ



AIカメラ等により収集した店舗情報、空席情報をデジタルマップに掲載。また、経路情報も合わせて表示。

来店者測定機能



店舗に設置した二次元バーコードを読み込むことで、プレゼント付きくじ引き（ガチャ）ができるサービスを展開。ガチャ実施数で、店舗来店者数を測定。

佐原

佐原の大祭MAP／佐原の大祭スタンプラリー

「佐原の大祭 夏祭り」（7月14日～16日）

「佐原の大祭 秋祭り」（10月13日～15日）に来訪する観光客の方へ提供。

佐原の大祭MAP



山車の位置やルート情報、山車に関する情報を確認できるので、リアルタイムな観光体験を楽しむことができます。

佐原の大祭スタンプラリー



山車の見どころに関するクイズや様々なミッションが出題され、正解するとスタンプをコレクションできます。

●地域の課題解決に向けた取り組みの一環として、金融機関、教育機関と新たに連携

金融機関

第二期佐原のあしたPROJECT

(開催期間：2023年5月～2024年3月)

第二期は地元金融機関の佐原信用金庫と共催し、地域とのリレーションシップを強化。第一期を踏襲した「自由テーマ型」に加え、地域課題／ビジネスに密接に関係するプロジェクトを組成、強化するための「課題選択型」を新設。



10月に最終発表会が行われ、4チームが優秀賞に選出された。
「自由テーマ型」からは、豚のすい臓を活用した新たなB級グルメに関するアイデアや、田園風景の中での自然体験を促進するアイデアが受賞。
「課題選択型」からは、佐原地区に流れる小野川へ休憩用ベンチと芸術作品を設置し、滞在時間や歩行時間を増加させるアイデアや、高齢者の生活支援を目的とした福祉サービスのDX化に関するアイデアが受賞。
これら4チームは、2024年3月まで社会実験に挑戦。当社とさ佐原信用金庫で支援をしております。

教育機関

産学連携による新規ビジネスの模索

慶應義塾大学SFC研究所（所長：飯盛 義徳 総合政策学部 教授）と創業の地である佐原において、地域の課題解決のための具体的方策の探究において連携。

■ 本プロジェクトの取組み

当社は活動をサポートしていく一方で、地域課題に関心がある若者の斬新な視点とアイデアを取込み、新規のプラットフォーム型事業のヒントを得るとともに、その探索に生かしていく。

・30名程の学生が参加。

- ① 佐原の状況、地域資源などについて学習。
- ② 6～7チームに分かれ、地域の方々と共に現状と課題について検討し、徹底的なフィールドワーク。
- ③ グループワーク、地域の方々との意見交換によって、解決に向けた具体的方策を探究。
- ④ 授業、フィールドワークで得た知見をもとに、各チームが地域の課題解決につながる実践的な具体的方策を取りまとめ、発表した。

3年間に渡り佐原の課題解決を実践していく予定であり、当社はこの活動をサポートしてまいります。

ご清聴ありがとうございました

1. 2023年3月期第2四半期連結決算概要
2. 2023年3月期通期連結業績見通し
3. 株主還元（配当予想）
4. 今後の事業展開（進捗状況）
5. トピックス

付録：会社概要／データ資料

主要な経営指標推移

(単位：百万円)

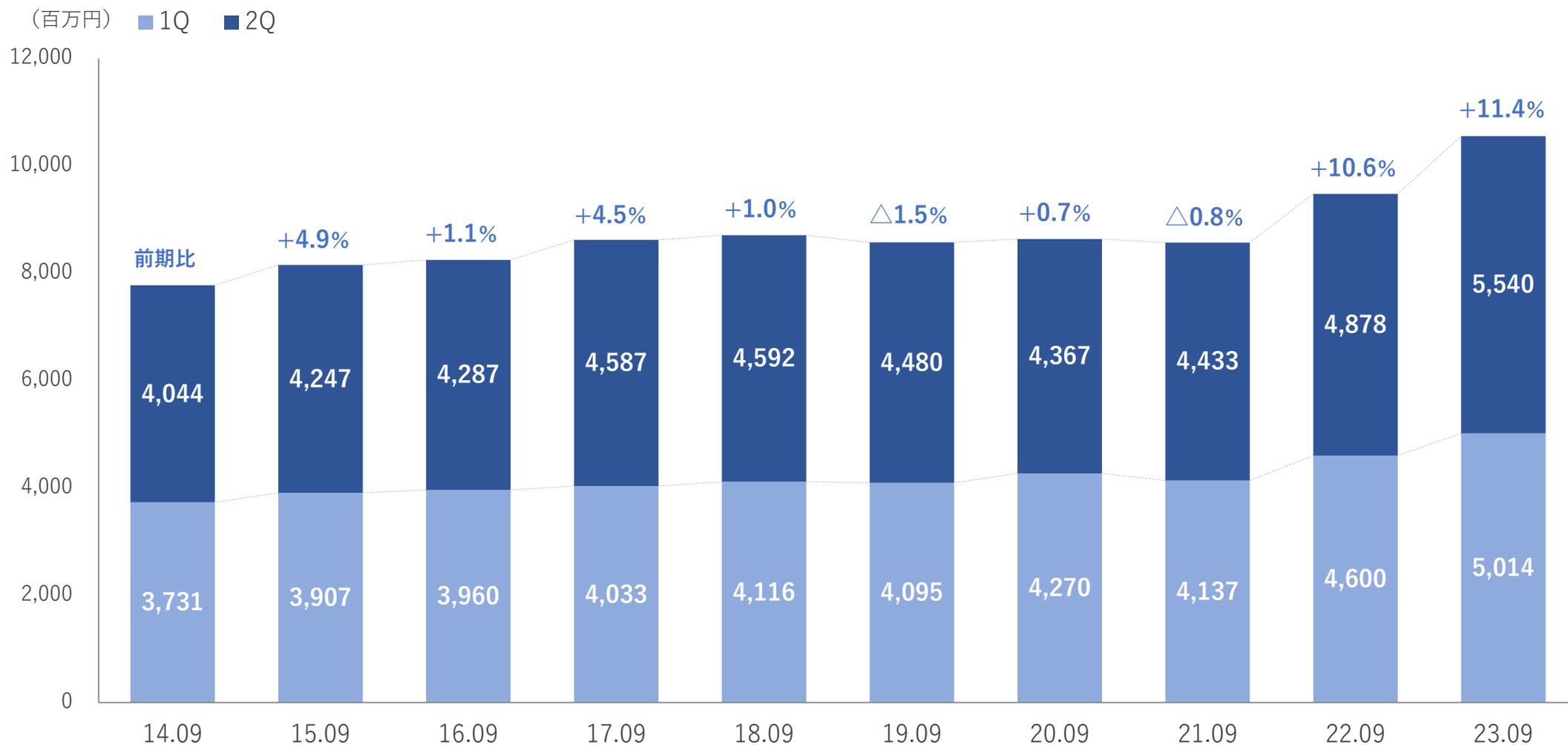
	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期 (予想)
売上高	18,017	17,684	18,251	20,449	21,000
増減率	(+0.3)	(△1.8)	(+3.2)	(+12.0)	(+2.7)
営業利益	1,940	1,870	2,226	2,544	2,600
率(対売上高)	(10.8)	(10.6)	(12.2)	(12.4)	(12.4)
増減率	(△2.2)	(△3.6)	(+19.0)	(+14.3)	(+2.2)
経常利益	2,279	2,138	2,466	2,742	2,840
当期純利益	1,266	1,363	1,631	2,210	1,970
率(対売上高)	(7.0)	(7.7)	(8.9)	(10.8)	(9.4)
増減率	(△12.3)	(+7.7)	(+19.6)	(+35.5)	(△10.9)
1株あたり当期純利益 (EPS)	111.53	120.09	145.66	199.03	180.31
純資産	13,588	15,171	16,101	17,911	
株主資本利益率(ROE)	9.6%	9.5%	10.4%	13.0%	
1株あたり配当額	22円	22円	23円	23円	27円
配当性向	19.7%	18.3%	15.7%	13.1%	15.0%
社員数(連結)	1,490	1,530	1,507	1,553	
採用人数	116	60	102	135	

23年3月期 第2四半期	24年3月期 第2四半期
9,478	10,554
(+10.6)	(+11.4)
1,064	1,225
(11.2)	(11.6)
(+12.6)	(+15.2)
1,156	1,390
1,014	926
(10.7)	(8.8)
(+40.9)	(△8.8)
91.39	83.79
16,821	18,435

株価と出来高の推移

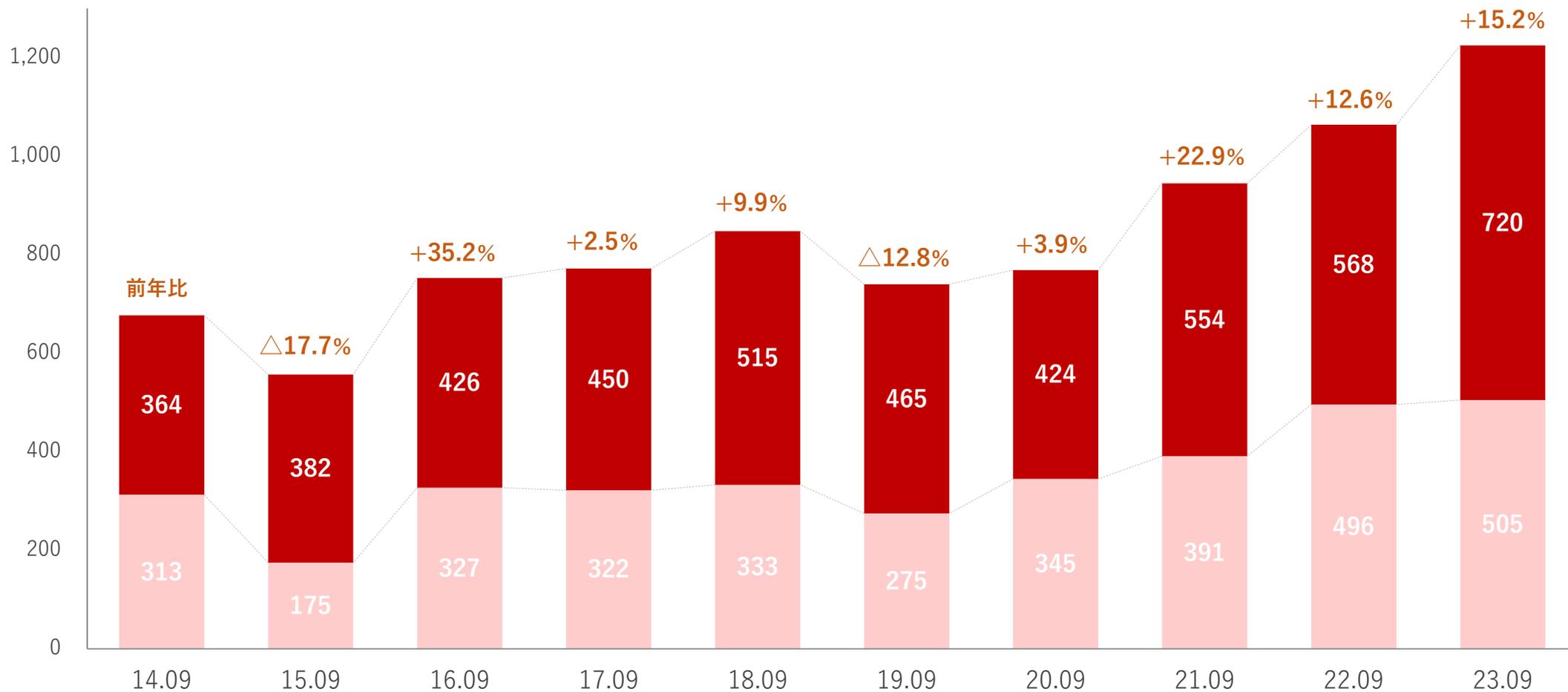


第2四半期売上高の推移 (2014.9~2023.9)

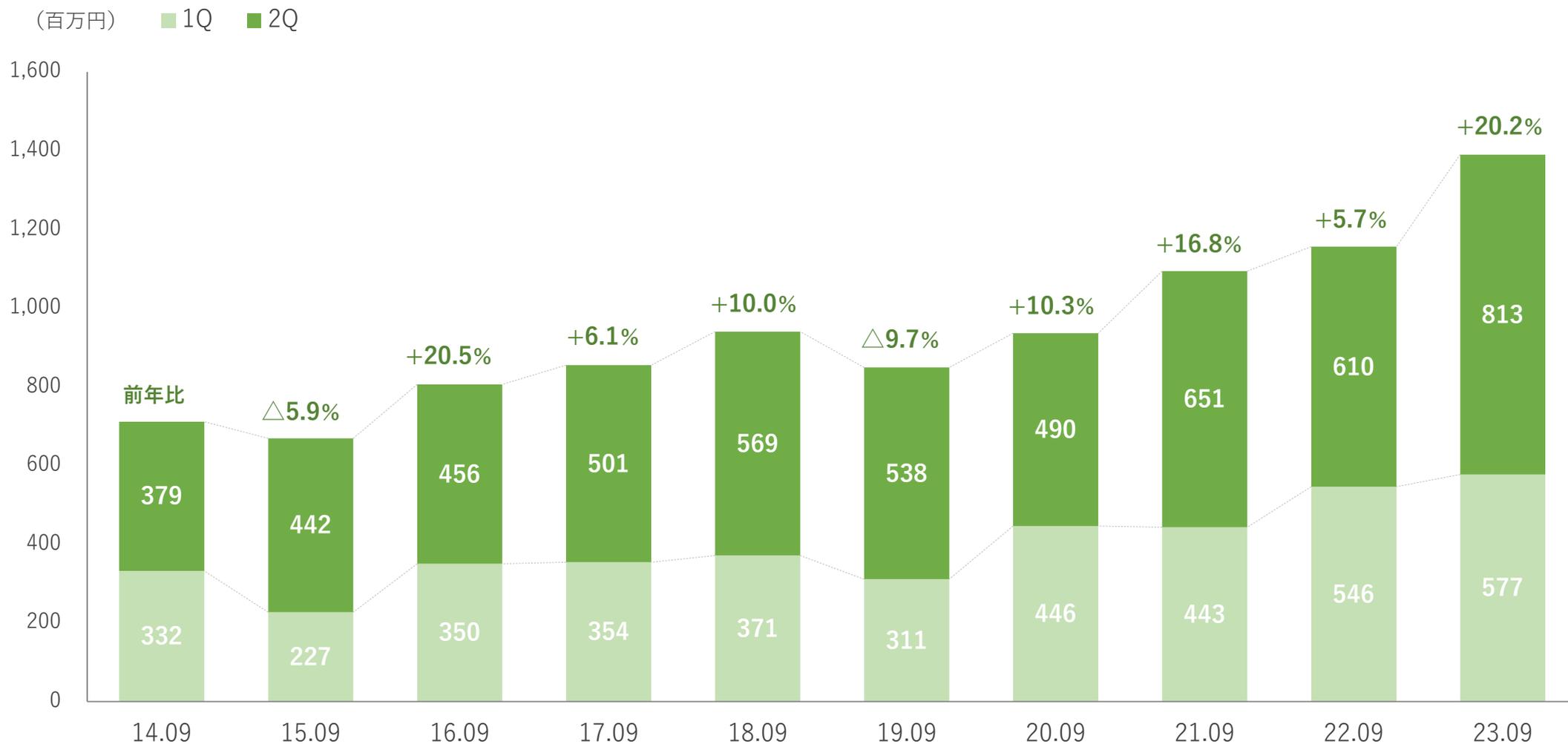


第2四半期営業利益の推移 (2014.9~2023.9)

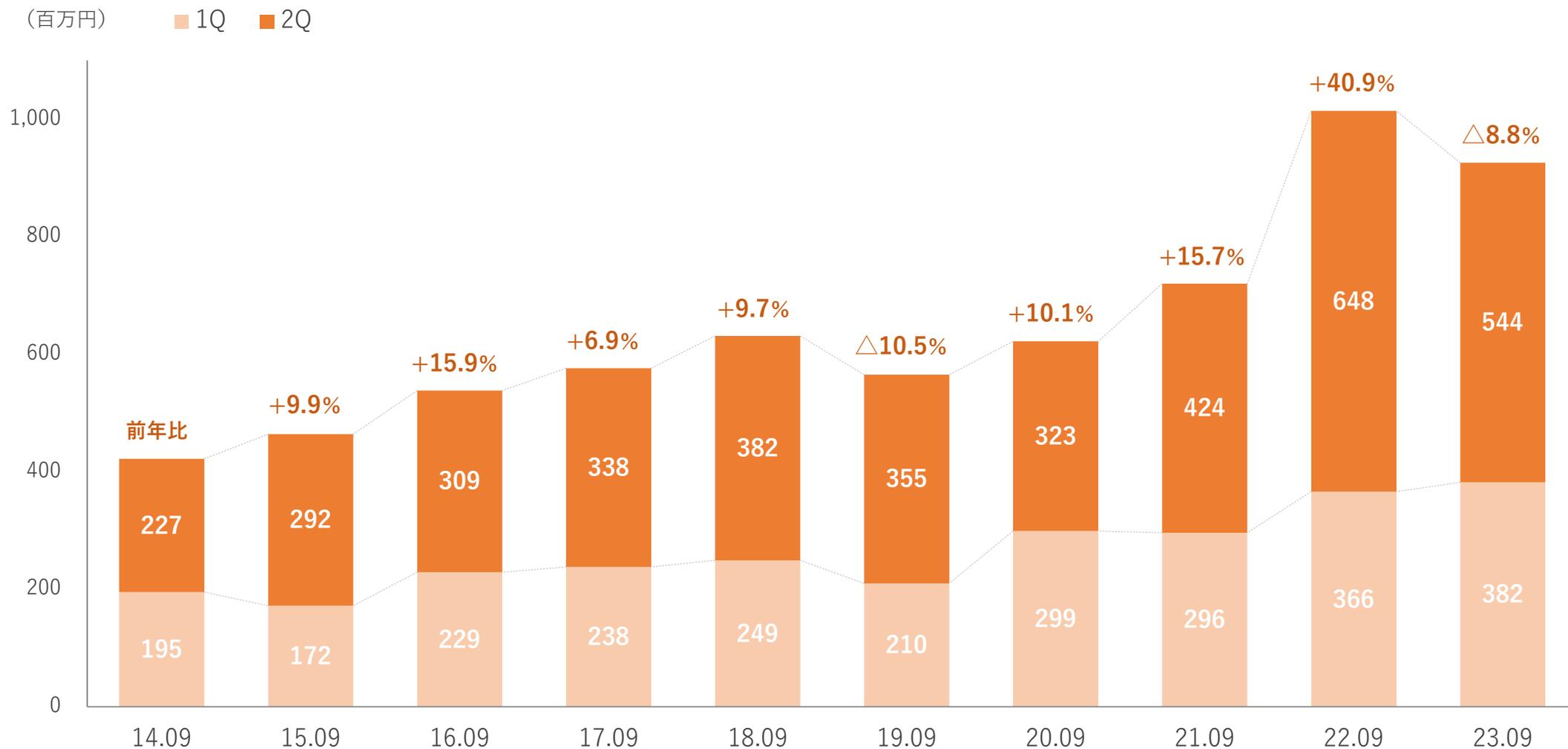
(百万円) ■ 1Q ■ 2Q



第2四半期経常利益の推移 (2014.9~2023.9)



第2四半期純利益の推移 (2014.9~2023.9)



会社概要

社名	株式会社エヌアイデイ (英社名：Nippon Information Development Co.,Ltd.)
所在地	東京都中央区晴海1-8-10
設立	1967年5月
資本金	6億5,335万円
事業内容	システム開発事業、システムマネジメント事業、その他事業
連結子会社	4社（NID・MI<千葉県>、NID東北<宮城県>、NID air<東京都>、テニック<東京都>）
社員数	連結：1,639名 単体：1,068名（2023年9月末現在）
発行済株式数	13,109,490株
株主数	780名（2023年9月末現在）

事業の概要

その他事業

エヌアイデイ/NID・MI/NID air
2024年3月期第2四半期 売上高

780百万円

- データソリューション分野
- 人材派遣分野
- プロダクト分野

システムマネジメント事業 エヌアイデイ

2024年3月期第2四半期 売上高

2,567百万円

- 運輸・通信分野
- 金融・保険分野
- 官公庁・団体分野
- 建築・製造分野
- 卸売・小売分野
- その他分野



システム開発事業

エヌアイデイ/NID・MI/
NID東北/テニック

2024年3月期第2四半期 売上高

7,205百万円

- 金融分野
- 情報・通信分野
- 公共・社会インフラ分野
- カーエレクトロニクス分野
- FA・装置制御分野
- 官公庁・その他分野

事業の概要

